

令和5年度
事業計画

社会福祉法人
御所市社会福祉協議会

地域共生社会の実現に向けた住民主体のまちづくりの推進

～ つながり、支え合う仕組みづくり ～

3年以上にわたる新型コロナウイルス感染拡大という災禍は、人々の働き方やコミュニケーションなどの社会のあり方を変容させたばかりではなく、地域における福祉のかたちを転換させる分岐点ともなっています。

コロナ禍における経済的打撃や外出自粛等の影響で、生活困窮に陥ったり、地域社会で孤立する人が増加し、複雑・多様化した生活課題を抱えた人々へのより一層の支援が必要となっています。社会福祉協議会は、誰ひとり取り残さない、孤立を生まない地域づくりに取り組んでいかなければなりません。

厚生労働省は「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備への取り組み」に力を入れています。1機関1個人の対応やいわゆる「縦割り」の関係から発想を転換し、介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮といった各分野のそれぞれの専門性をお互いに活用し、関係機関・関係者のネットワークで構成された「チーム」で対応し、福祉分野にとどまらず保健医療、教育等多様な分野において地域を考えていくことが重要です。社会福祉協議会においても、行政やさまざまな関係機関と連携・協働していくことがこれまで以上に求められています。

令和5年3月に「第3期御所市地域福祉活動計画」を策定しました。第2期活動計画の内容をふまえ、第2期以降未策定である行政計画「地域福祉計画」の策定を見込み、これまでよりも長い7年間で計画を策定しました。将来的には、行政計画と一体となって計画を策定していくことを検討しています。「地域福祉活動計画」は、地域におけるさまざまな課題を、地域住民や市民団体、ボランティア、当事者などが自ら“主体的”に参加し、解決していくための民間の計画です。社会福祉協議会と地域住民、団体等が手を取り合って共に取り組んでいく必要があります。PDCA（Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）を繰り返すマネジメント手法）サイクルの理念を活用して1年ずつ計画どおり実行できているか、策定委員の皆様と検証を行いながら地域住民、団体の皆様と共に進めてまいります。

第3期活動計画策定を機に新たにした基本理念「共に生き、共に支え合うところを育み、誰もが地域でつながるまち・御所」を目指し、ハード面の充実はもちろんのこと、ソフト面にも力を入れる必要があります。高齢者や障がい者にとって住みやすいまちは、誰もが住みやすいまちです。“バリアフリー”は、たとえば段差のない道を作ること等がイメージしやすいですが、困った人を見たときに声をかけ、助けられるような豊かで優しい心を育む「心のバリアフリー」も含まれます。小中学校における福祉体験（車いす体験、白杖体験、

ユニバーサルデザイン等)を通じて、心のバリアフリーに取り組み、地域で暮らす一人ひとりの人生の多様性を尊重し、人と人、人と社会がつながり、支え合える環境を整備するための新たなアプローチをしていく必要があります。

以上のことを推進していくために、まずは事務局内の人材・人員の確保に努め、働きがいや福祉事業のやりがい等、目標・目的意識を持った職員で構成される組織となるために、組織内の意識改革を行っていきます。

基本理念

「共に生き、共に支え合うところを育み、 誰もが地域でつながるまち・御所」

＜第3期 御所市地域福祉活動計画より＞

◇基本方針

基本理念の下、「地域共生社会」の実現に向け、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、行政をはじめとする関係機関と協働して、誰もが生き生きと暮らすことができる仕組みを構築していきます。

令和5年度の新規事業として、高齢、障がい、出産前後等の理由で支援が必要な方を地域の有償ボランティアが支援し、住み慣れたまちで自立した生活を送れるよう、住民による助け合いの福祉のまちづくりを目指す『住民参加型在宅サービス事業—たすけ愛隊—』を開始します。令和4年度に開始した委託事業『御所市介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービスB』（ちょいボラメイト）だけではカバーできない、介護保険をはじめとする各種制度の狭間で支援を受けられない方たちの受け皿として活用していくため、有償ボランティアの養成、サービス内容の広報、周知に努めます。

また、経理規程第13章に謳われている「社会福祉充実計画」に関し、「社会福祉法第55条の2の規程に基づく社会福祉充実計画の承認等について」の一部改正に伴い、社会福祉充実残額の計算ならびに社会福祉充実計画の作成に取り組む必要があります。社会福祉充実計画の作成にあたっては公認会計士・税理士等からの意見聴取が求められており、さらに経理を適切かつ正確に行うことも目的として、令和4年度より税理士との顧問契約を結び、経理部門の強化を推進します。

◇重点項目

- ・地域へのアウトリーチ
- ・「通いの場」の提供と持続
- ・職員のスキルアップ

◇事業区分

経理規程第6条に記載のとおり「社会福祉事業」とし、拠点区分として「地域福祉事業」と「介護保険・障害福祉サービス事業」の2つに分かれる。

1. 地域福祉事業

(1) 法人運営事業

事業内容：理事会・評議員会の運営、御所市社会福祉大会の開催

内容	日程（予定）	
理事会	第1回	令和5年5月下旬予定
	第2回	令和6年3月下旬予定
評議員会	第1回	令和5年6月中旬予定
	第2回	令和6年3月下旬予定
御所市社会福祉大会	令和5年11月下旬予定	
御所市地域福祉活動計画策定委員会	第1回	令和5年4月下旬予定
	第2回	令和6年2月下旬予定

(2) 軽度生活援助事業

事業内容：単独世帯・高齢者世帯で援助を必要とする世帯に対し食材の買い物等の支援を行う（御所市委託事業）

→御所市介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービスB《ちょいボラメイト》へ移行（御所市委託事業）

【令和4年度】ちょいボラメイト利用者数 延 10人

【令和5年度】ちょいボラメイト利用見込数 延 24人

(3) ボランティアセンター事業

事業内容：ボランティアに関心のある活動希望者に対し、相談や情報の提供
ならびにネットワークの構築を進め、ニーズに合った活動を支援
するための総合窓口

【令和4年度】養成講座 0回、エコキャップ回収 750kg、
使用済み切手回収 2,230g、プルタブ回収 17.3kg

【令和5年度】養成講座（たすけ愛隊・ちょいボラメイト）2回実施予定
エコキャップ・使用済み切手・プルタブ回収 通年実施

○コミュニティサロン「てとてと」

毎月1回 第3木曜日 午後1時～4時に開催

【令和4年度】開催12回 延 参加者240人（ボランティア含む）

【令和5年度】毎月1回開催予定

○オープンスペース「だん」

ゆったり過ごせる居場所づくり

【令和5年度】毎月1回「てとてと」と同時開催予定

○住民参加型在宅サービス事業—たすけ愛隊—（新規事業）

援助会員（ボランティア）の養成、派遣

【令和5年度】利用見込数 延 24人

(4) 心配ごと相談事業

事業内容：悩みを持つ人々の相談窓口となり、あらゆる相談に応じ問題解決に
努める（毎週火曜日 午後1時～3時）

【令和4年度】相談件数 13件

【令和5年度】通年実施

(5) 共同募金配分金事業

事業内容：運営委員会・審査委員会の運営

一般募金および歳末たすけあい募金運動の実施

募金助成（団体活動助成・施設活動助成・公募団体活動助成・社会福祉協議会活動助成等）

【令和5年度会議等予定】

内 容	日 程
運営委員会	第1回 令和5年7月下旬予定（運営委員改選） 第2回 令和5年8月下旬予定
審査委員会	令和5年7～8月予定
一般募金	令和5年10月1日～令和6年3月31日
歳末たすけあい募金	令和5年10月1日～令和5年12月31日

○共同募金目標額 一般募金 3,000,000円

歳末たすけあい募金 1, 850, 000円

《参考：過去5年の目標額》

	一般募金	歳末たすけあい募金
令和元年度	3, 0 0 0, 0 0 0 円	2, 1 0 0, 0 0 0 円
令和2年度	3, 0 0 0, 0 0 0 円	2, 1 0 0, 0 0 0 円
令和3年度	3, 1 0 0, 0 0 0 円	2, 0 0 0, 0 0 0 円
令和4年度	3, 1 0 0, 0 0 0 円	1, 9 0 0, 0 0 0 円
令和5年度	3, 0 0 0, 0 0 0 円	1, 8 5 0, 0 0 0 円

○小地域活動推進事業

- ・一人暮らし高齢者等の訪問 年2回実施（5月、12月）
- ・一人暮らしの高齢者・障害者宅への配食 通年実施

○生活支援活動「住まいの見守り隊」事業 通年実施

○療育教室「きらっこひろば」

毎月第3土曜日 午後1時30分～2時30分

5月～翌年3月 全11回開催予定

○広報誌「社協だより」2回発行 令和5年7月1日、10月1日発行予定

(6) 生活福祉資金貸付事業(奈良県社会福祉協議会委託事業)

事業内容：低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯を対象とした無利子または低利息で生活に必要な資金を貸し付けるとともに、世帯の自立に向けて支援を行う事業（総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金）

奈良県社会福祉協議会生活福祉資金貸付業務に対する事務

資金の種類

- ・総合支援資金・・・「生活支援費」「住居入居費」「一時生活再建費」
- ・福祉資金・・・「福祉費」「緊急小口資金」（原則上限10万円）
- ・教育福祉資金・・・「教育支援費」「就学支度費」
- ・不動産担保型生活資金・・・借受人の死後に相続人が住宅売却する等により借入金を償還する

【令和5年度】生活福祉資金貸付見込数 15件 4,000,000円

(7) 善意銀行運営事業

事業内容：善意金品の受払に関する業務

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	1件	2件	2件	2件	3件
金額	10,000円	29,281円	15,000円	22,000円	10,000円

【令和5年度】寄付見込額 1件 11,000円

(8) 日常生活自立支援事業(奈良県社会福祉協議会委託事業)

事業内容：判断能力が不十分な、認知症高齢者や精神・知的障害者に対し、日常生活に必要な金銭管理及び文書管理等の支援を行う

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (2月末まで)
利用者数	15人	18人	18人	18人	17人

【令和5年度】利用者見込数 16人

2. 介護保険・障害福祉サービス事業

(1) 訪問介護事業

(2) 障害福祉サービス事業（重度訪問介護）

(3) 障害福祉サービス事業（居宅介護）

事業内容：高齢者・障害者に対しホームヘルパーを派遣し在宅での生活支援を行う

(4) 移動支援（御所市委託事業）

事業内容：屋外での移動が困難な障害者（児）の方が、生活上必要な外出や余暇活動などの社会参加のための外出時の移動支援を行う。

○訪問介護事業利用者

<介護保険>

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者	延 127人	延 201人	延 230人	延 202人	延 131人

<障害者>

※移動支援事業（御所市委託事業）含む

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
身体障害者	延 22人	0人	0人	延 12人	0人
知的障害者	延 24人	延 34人	延 33人	延 36人	延 36人
精神障害者	延 87人	延 86人	延 57人	延 60人	延 61人
移動支援	延 48人	延 48人	延 45人	延 51人	延 43人
合計	延 181人	延 168人	延 135人	延 159人	延 140人

【令和5年度】利用者見込数 延 200人

(5) 障害者一般相談支援事業（御所市委託事業）

事業内容：身体障害者・児、知的障害者・児、精神障害者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう相談に応じ、必要な情報提供および助言を行い、事業所との連絡調整を行う。

※令和5年4月より休止

○障害者（児）相談支援件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (8月末まで)	令和3年度 (2月から再開)	令和4年度 (12月末まで)
相談件数	延 182件	延 243件	延 32件	延 54件	延 89件

(6) 特定障害者相談支援事業

(7) 特定障害児相談支援事業

事業内容：身体障害者児・知的障害者児・精神障害者へのサービス等利用計画等の作成を行う。 ※令和5年1月より休止中

○障害者（児）計画数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (8月末まで)	令和3年度 (2月から再開)	令和4年度 (12月末まで)
計画数(障害者) (モニタリング含む)	延 64件	延 75件	延 38件	延 3件	延 28件
計画数(障害児) (モニタリング含む)	延 34件	延 49件	延 44件	0件	延 5件

◇その他社協の活動

・車いすの貸し出し

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (2月末まで)
年間件数	延 29件	延 25件	延 31件	延 27件	延 34件

【令和5年度】利用見込数 25件

・食のほっと便

【令和4年度】利用者 延 214人

【令和5年度】利用見込数 延 200人

・フードレスキュー

【令和4年度】利用者 5人

【令和5年度】利用見込数 3人